

とちぎし 栃木市のゆかりのしせつ



◆ おだいらなみへいせい 小平浪平 生たん地



とちぎしつがまちかっせんば いまのこ
 栃木市都賀町合戦場に今も残る
 おだいらなみへい うえ いえ
 小平浪平が生まれた家です。
 2018年(平成30年)に、小平浪
 平の親族が土地と建物を栃木市に
 ゆずり、今は市が管理しています。
 よやくをすれば、浪平が子どものころ
 に勉強にはげんだ勉強小屋や、生
 活していたおもや けんかく
 母屋などを見学できま
 す。

おだいらなみへいせい ち
 小平浪平 生たん地
 ホームページ



せいもん 正門



おだいら け かつせんば こうだい た
 小平家は合戦場の広大な田んぼや
 はたけ さんりん しょう おおじぬし
 畑、山林を所有する大地主でした。

きねん 記念ひ



せいもん ひ たちせいさくしよ しゅう
 正門のそばには、日立製作所50周
 ねん くはらふさのすけ か おだいらなみへいせい
 年に久原房之助が書いた小平浪平生
 ち きねん
 たん地の記念ひがあります。

おもや 母屋



なみへい かぞく す たてもの なみへい
 浪平が家族と住んでいた建物。浪平
 が東京へ行った後も、浪平の母と兄た
 ちが住み続けていました。

べんきょうごや 勉強小屋



なみへい さい どうきょう い
 浪平は14才で東京に行くまで、この
 建物で勉強にはげんでいたと言われて
 います。

とちぎしりつぶんがくかん 栃木市立文学館

とちぎし かんけい さっか ぶんがくさくひん
 栃木市に関係がある作家や文学作品に
 かん するてんじや、市のれきしに足せきをの
 こしたひと たちに関するてんじがあり、小平
 なみへい
 浪平もしょうかいされています。

てんじの中には、浪平がつくった純国産
 5馬力モーターのレプリカを見ることができ
 ます。

ぶんがくかん たてもの ねん たいしゅう
 文学館の建物は、1921年(大正10
 ねん どうじ とちぎまちやくば た
 年)に当時の栃木町役場として建てられま
 した。2014年(平成26年)まで約90年
 のあいだまちやくば しやくしよ しやう
 のあいだ町役場・市役所として使用されて
 いました。

とちぎしりつぶんがくかん
 栃木市立文学館
 ホームページ



▲ おだいらなみへい ぎょう
 小平浪平の業せきをしょうかいするてんじ



とちぎしりつぶんがくかん
 栃木市立文学館